

# 道路 朝礼アプリを開発

## 大林 遠隔指示でも意思疎通

大林道路は、Inteligent ACORN(千葉県松戸市、一岡義宏代表)、システム・クリニック(神戸市、菅沼直昭社長と共同で、工事関係者が遠隔で朝礼を実施できる「朝礼アプリ」を開発し、9月から自社施工現場での試験運用を始めた。新型コロナウイルス感染症防止対策の一環

として、1カ所に人を集めなくても適切な指示と意思疎通が可能になり、タンポトラックの運転手への作業指示などにも利用できる。  
iOS搭載端末やAndroid搭載端末で利用できるアプリケーションソフトで、プロジェクトごとに発行された番号と利用者の名前を登録すれば利用できる。ラジオ体



操、作業個所の写真確認、作業内容と安全注意事項の確認、作業間調整事項や資機材の搬入時間・ルートといった職員からの注意事項をネットワーク、安全コール、グ

ループごとのKY活動記録など、従来、朝礼で実施している内容を網羅しており、作業個所でのグループごとの当日の作業方法や注意事項も確認できる。  
画面には参加者数の表示や参加者の発言・朝礼の進行を円滑にする「タップで発言」「了解」ボタンを配置し、表示画面は朝礼主催者の操作に合わせて参加者側の画面も自動的に移動する。  
相本正幸執行役員本店技術部長は「現在は試作段階で最低限の機能しかないが、開発の中で朝礼以外での使用法も発見できたので、さらなるバージョンアップで多様な使い方ができるようにしたい」と語る。今後、工事日報システムとのデータ連動やBIMモデル・過去の事故事例・法令などの効果的な表示、ウェブカメラや360度カメラを接続した遠隔での安全パトロールの実施といった機能の実装を検討するほか、コンテンツをパッケージ化して市販することも計画している。

